

開講科目名 / Course	小児看護学演習	
ターム・学期 / Term・Semester	2021年度 / Academic Year 前期	
開講区分 / semester offered	前期	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	3	
主担当教員 / Main Instructor	高野 政子	
担当教員名 / Instructor	高野 政子、草野 淳子、足立 綾	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	演習	
科目の目的と概要	<p>主要な小児の疾患の病態と治療・看護の要点を学び、小児と家族に対する援助方法を学ぶ。また、小児の健康障害を保健・医療・教育など総合的な観点から捉え、紙上事例を通して看護上の問題を抽出し必要な看護ケアなど看護過程を展開して学ぶ。また、小児看護における看護援助技術を習得する。</p>	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児の主要な疾患の病態と治療・看護の要点を説明できる。 2. 小児の健康障害に対して、小児と家族への看護を説明できる。 3. 小児の紙上事例について看護過程を展開できる。 4. 小児看護で用いる援助技術を習得できる。 	
DPとの対応	<ol style="list-style-type: none"> 1. 確かな看護の力・技術力、2. 看護を遂行するための幅広い知識と観察力・臨床推論能力、マネジメント能力、3. 心豊かな人間性と倫理観 	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 01. 小児の看護過程 02. 小児事例の看護過程の展開 (GW) 03. 小児と家族とのコミュニケーション 04. 小児の薬物療法 05. 小児の救急法 (講義) 06. 小児の救急法 (演習) 07. 小児のフィジカルアセスメント (講義) 08. 小児看護技術演習 (1) バイタルサイン測定等 09. 小児看護技術演習 (2) 吸引、経管栄養等 10. 小児看護技術演習 (3) 静脈点滴固定法等 11. 急性 (川崎病) の事例検討 12. 慢性期 (糖尿病) の小児の事例検討 13. 手術を必要とする小児の事例検討 14. 終末期の小児がんの事例検討 15. 脳性まひの小児の事例検討 	
その他の授業の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・前半は講義形式が中心である。後半はアクティブラーニングを基本とする。 ・疾患等の個人ワークとグループワークで調べ学習をした後、発表する。 ・高機能シミュレータやモデル人形などを多用して技術を実践的に指導する。 ・視聴覚教材を活用して各技術項目の内容をイメージできるように工夫している。 	
時間外学修	<ul style="list-style-type: none"> ・個人ワークとグループワークによる課題提出。 ・技術習得については、実習室での練習を支援するので、教員への申し出により可能である。 	
評価方法と評価割合	筆記試験 (90%)、出席 (5%)、個人ワークとグループワーク等への参加状況 (5%) などを総合的に評価する。	
テキスト	系統看護学講座 専門分野 小児看護学[1,2] (医学書院) 写真でわかる小児看護技術 (インターメディカ)	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他	小児看護学実習のガイダンスおよび保育所実習ガイダンスを別途行う。	
教員の実務経験	有・無	有
	内容	高野政子：病院のNICU、小児病棟、小児科外来の看護師 草野淳子：保健所の保健師 足立綾：病院の看護師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	講義では、臨床で経験した事例を話して、テキストの内容を具体的に説明する。	